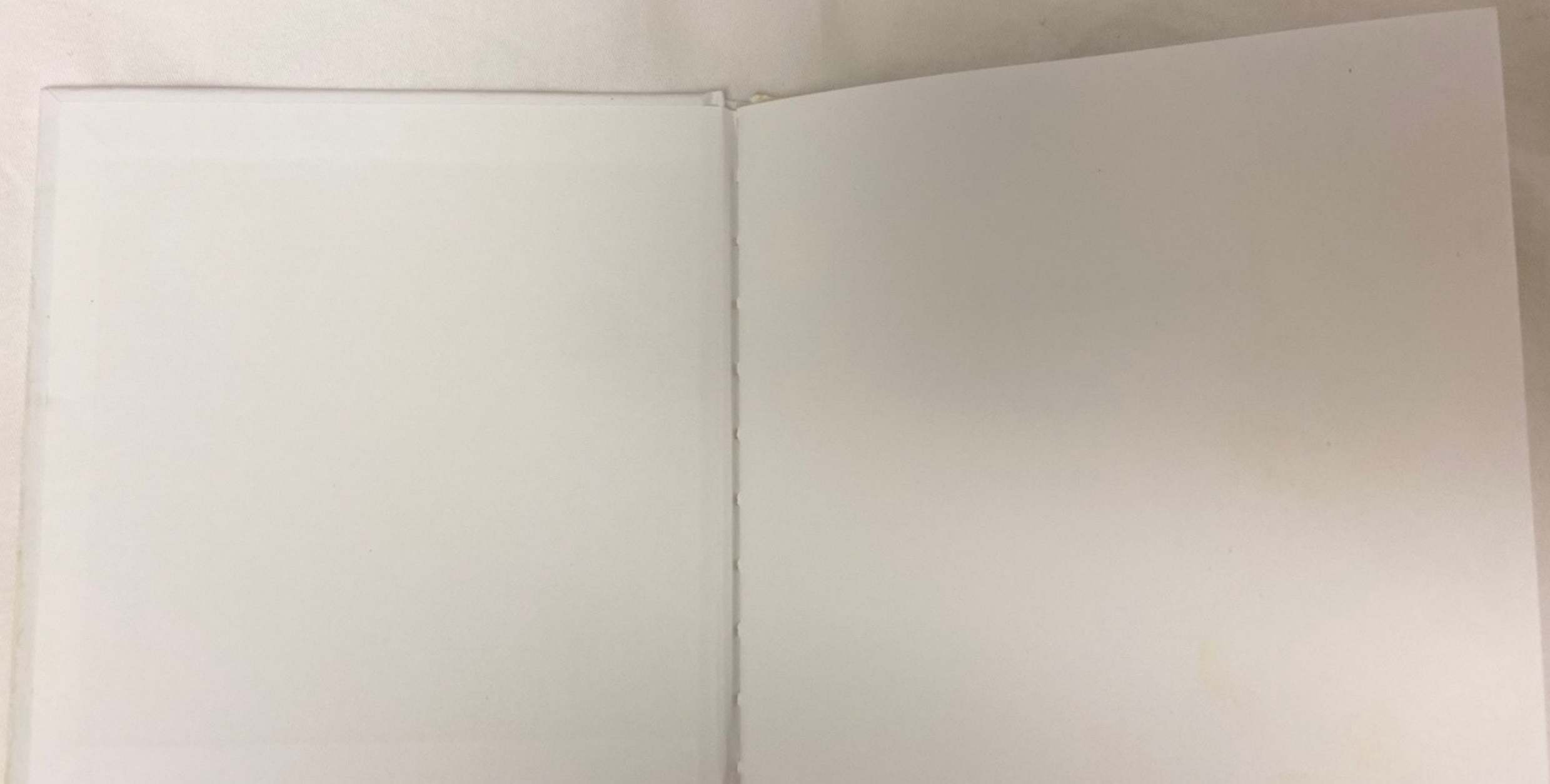


月に行きたい







月に行きたい

教育学部 乳幼児発達学科

1年6組17番 学籍番号 213520026

澤井 ちひろ





今日はなんだか眠れない夜です。

ちいちゃんはお布団から飛び起き、

ふと窓を開けて外を見ってみました。

すると、そこにはまんまるの大きなお月様が光っています。

「わあ、とっても綺麗。」

ちいちゃんはうっとりとお月様を眺めていました。



「ピカピカの綺麗な月に私も行ってみたいなあ。

でも...どうやって行くんだろう...。」

ちいちゃんはたくさん考えました。







「あ！わかったぞ！！


お月様みたいにまんまるのりんごをたくさん集めてお山にしよう。

一生懸命登るんだ！

んー。やっぱりだめだ、美味しそうだから全部食べちゃうかもしれない。」

ちいちゃんは別の方法を考え始めました。





「わかったぞ！」


今度は食べれないはしごを使えばいいんだ！

高いお山のでっぺんからながーいはしごを月にかけてよう。

でも...お山まではしごを運べないかもしれないな...」

ちいちゃんはまた別の方法を考えました。






「今度こそわかったぞ！」

空を自由に飛べる鳥さんに連れて行ってもらえばいいんだ！

素敵な空の旅ができるに違いない！

でも...途中で空からお空から落ちちゃったら大変だ。」







ちいちゃんはついに困ってしまいました。

「どうすればいいんだろう。」

そこへ、ママがやってきました。

「ちいちゃん、まだ起きてたのね。何を悩んでいたの？」

「あのねママ。私、月に行きたいの。でもどうやって行けばいいかわからないの。」

「じゃあママが教えてあげるね。」

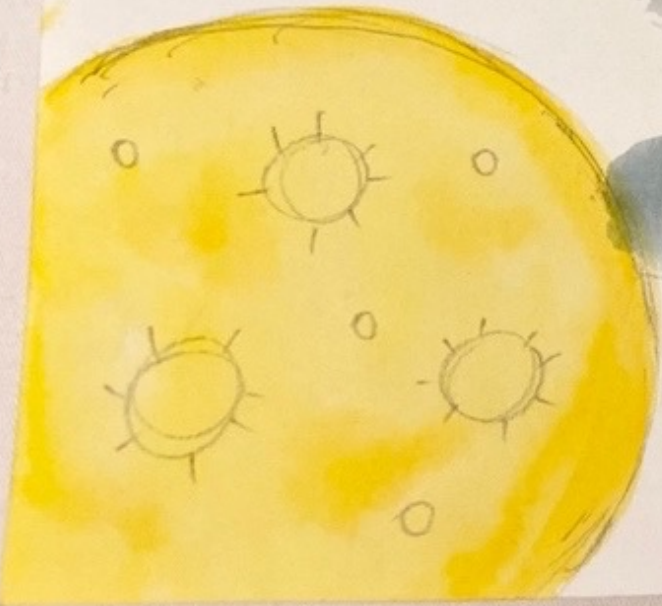
ちいちゃんは嬉しそうに頷きました。



「月はね、宇宙っていう、とっても高いところにあるの。」

お空のもっともっと上だよ。

月に行くにはね、宇宙飛行士になって、ロケットに乗るんだよ。」







「すごい！私もいつかロケットに乗って月に行けるかな。」

ママは言いました。

「目を瞑ってごらん。きっと素敵なロケットに乗って

お月様に行く夢が見られるよ。」

ちいちゃんはにっこり笑って眠りにつきました。



